

防犯特集

2000年末の世田谷一家殺人事件。愛する家族を喪った悲しみは、四半世紀を経た今も消えず、事件解決を願わない日はありません。解消することのない悲しみとどう向き合うか。

多発する特殊詐欺事件の報に接するたびに思い出すが、20年前の出来事です。「オレオレ詐欺」という言葉もない頃、親族が特殊詐欺の被害に遭遇しました。早速、担当の刑事さんに相談しましたが、「民事不介入」との反応。仕方なく、弁護士さんを探し、対応しました。当時の警察の常識だったとしても、虐待を「いじめ」、性被害を「いたずら」と呼ぶのと同じく、命が奪われてやっと動き出す、軽く見られていると思い知らされました。



警察は闇バイトの応募者に対し、「いつの段階でも、警察に相談することが『あなた』や家族を救う」と、思い留まるよう呼びかけています。

身近な人たちの思いやりのまなざし、困りごとに気づく力が街を守り、あなたとあなたの大切な家族を守ると感じています。

世田谷事件遺族
入江 杏

ケアミーツアート研究所代表。「ミシュカの森」主宰。上智大学グリーンケア研究所非常勤講師。主な編著書に、『悲しみを生きる力に』（岩波書店）、『悲しみとともにどう生きるか』（集英社新書）、『わたしからはじまる 悲しみを物語るということ』（小学館）



2000年12月、一家4人が殺害された「世田谷事件」。突然、妹一家を失った著者は、絶望のどん底に突き落とされる。周囲の偏見、心ない報道、愛する家族を助けられなかった自責の思い……。深い悲しみに向き合うなかで、どのように生きる意味をつかんだのか。つらく、悲しい思いを抱えるあなたへ送る希望のメッセージ。



防犯

防犯活動は地味で楽しさに欠けるものと思われがちです。しかし、安全や安心は決してお金で買えるものではありません。

これまで20年以上にわたりエヌシティ東地区の安全を維持されてきた役員の方々の、たゆまぬ努力の結果だと思えます。私たちの掛け替えのない閑静な居住地は、私達自身の力で守る！この結束力こそが、これまで大きな犯罪がほとんど発生していない証です。しかしながら数年前、「空き巣被害」が発生し南大沢警察署にパトロール巡回強化を要請したことはありました。特に最近の「特殊詐欺」や「闇バイト強盗事件」に関しては、他人事とは思えないほど、私達の日常生活を脅かしております。

個々の防犯対策の一環としては、鍵や雨戸をきちんと締める、防犯カメラやフィルムを設置する、不審な電話には決して個人情報をお話さない等々の行動が必要不可欠となっております。更には自治会としても防犯啓蒙活動を一層強化すべく、居住地の巡回パトロールを定期的に実施しております。皆様方も通勤通学時、買い物や散歩途中で何か異常な状況を発見した際には、透かさず自治会や警察署にご一報下さい。是非、居住者全員の手を結集してエヌシティ東を安全な居住地として、今後も維持していきましょー！

(安全部寺西)

家の中に入れない。

強盗が入る家には
事前に不審な人物が訪ねてくる
という特徴もあります。

トイレを貸してほしい！

近くで工事をするので挨拶に来た！

不要な粗大ごみを無料で
買い取ります！

屋根が壊れかけているので
無料見積もりします！

普通の若者が闇バイトに絡めとられる。

入江杏さんに、小さな自治会の会報だけどコメントをいただけませんか？と連絡をすると、すぐにメッセージを送ってくれた。犯罪の抑止には、他者に対する思いやりが欠かせないと、杏さんは語りかけているように受け止めました。

高校を中退し働きに出たが、免許不携帯で逮捕されて職場を負われ、借金がかさみ、不良仲間からの誘いで、強盗の運転手へと。

「逮捕されることはわかっていた。成功するもしないもなく、捕まるしかない。母や警察に言ってどうなるかわからなかった。一番楽だったのが、諦めて(犯行を)することだった」

将来に対する不安と絶望。相談できる大人もいない。親に心配かけたくないという思いをもつ闇バイトの若者は少なくない。

2023年5月 東京・銀座の高級時計店で、腕時計など74点(約3億850万円相当)が奪われた事件は記憶に新しい。16歳から19歳の少年4人が逮捕された。運転手の19歳の若者に下った一番の求刑は懲役7年。



https://www.ytv.co.jp/miyaneya/article/page_65n2hndisz8zqmpr.html

特集

「闇バイト」ターゲットは、

一軒家の高齢者

ネットに溢れる

「闇名簿」

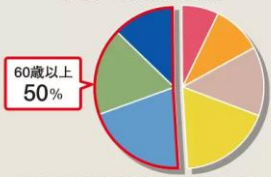
首都圏を中心に全国各地で発生した広域連続強盗事件で使用された名簿は、①お金を持っていて、②侵入したら、お金がありそうな家の名簿を使ったといわれています。かつて、著名人の連絡先が記されたものが書籍としてあり、当時から、本屋街の名簿屋に行くと、同窓会名簿、市議会議員名簿、デイスーパーの利用者名簿、保護者会名簿など、公になっている名簿が販売されています。

さらに、ネットの普及などにより、セキュリティの甘い企業の顧客情報が流出するニュースは、後を絶ちません。すでに、個人情報も巷にあふれています。

闇バイトを募集する投稿への警告件数



侵入盗 年齢層別被害者数



出典：警視庁 犯罪統計資料(令和5年1～12月分【確定値】)

14年7月、株式会社ベネッセコーポレーションは、約二千八九万件の顧客の個人情報

を漏洩し、21年7月、北海道国民健康保険団体連合会では、データの誤送信

により被保険者約九千人の個人情報流出。森永製菓

などは、不正アクセスで個人情報

が抜き取られています。デジタル庁はシステムの不

具合で、そのほかにも、野村不動産、「UB」など、漏洩した

企業は多々あります。メールアドレスなどは、世

界中から営業メールやスパムメールが届きますし、いま

では銀行を装った詐欺メールも多発しています。

手口は年々進化

自動音声のガイダンスをつかい、実在の公的機関や企業をよそおって個人情報を出したり、住宅の設備点検などの専門業者を装ったり、不要な粗大ごみを無料で買い取ります！、などと言って家に入り込んだり、手口は年々巧妙化しています。少なくとも、知らない人からの電話に出ないことは、防犯の第一歩です。

毎日

不審電話注意
(営業・サービスを装う)

**個人情報
漏洩注意**

(アンケート・家族数・預貯金・資産内容・クレジットカード)

部屋の電気をつけておく。



門燈をつける。



鍵をちゃんと閉める。
特に二階の窓。
雨戸も。



玄関にステッカーをはる



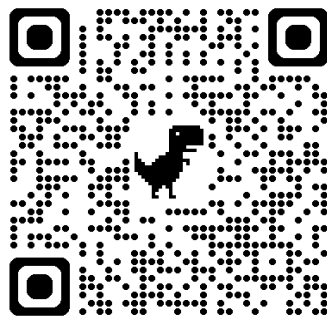
早めに

防犯フィルム
センサーライト
音が出るジャリ
防犯アラーム
補助錠
など



闇バイトとは、匿名性の高いSNSやインターネット掲示板などで、短時間で高収入が得られるなどと甘い言葉でアルバイトを募集し、取得した個人情報を元に脅迫し、犯罪の加害者に組み入れるバイトのこと。若者だけでなく、高齢者や夫婦での加害者(にさせられた人)も出ている。

流出情報検索サイト(詐欺も多いので注意)ノートの検索サイトをご紹介します。メールがダークサイトに流出しているかどうかをチェックします。



こしかけ 程度の イスで、 夜を明か し続けた 女性

四年前の十一月、六四歳の女性が四六歳の男に殺された。報道によると、女性は短大を卒業後、コンビニエーター関連の仕事をし、のちに派遣社員として働いていたが、その仕事もコロナで失い、家賃が払えずアパートを追い出されて路上生活となり、深夜になるとバス停のベンチで座ったまま短い睡眠をとっていたという。犯人は、周囲に人がいないことを確認して、レジ袋に石を入れて殴りつけ殺した。警察発表によると、犯行の動機は「前の日に女性に『どいてくれ』と」

声をかけたが応じてくれなかった。痛い思いをさせればいなくなると思った」というものだった。殺された女性の所持品は、報道では「ゴミ」と表現された食べ物の残りや、わずかに八円の現金だけだった。彼女が横にもなれずに眠っていたベンチは、22センチの幅で仕切りがつけられた排除椅子だった。野宿者に使わせないように作られたものだ。かつて、新宿駅から都庁につながる通路に動く歩道を作ることで、そこで何とか居場所を確保していた人々たちを追い出した。そして、少しでも横になれるスペースがあると、先のががったオブジェを立て始めた。



20年11月16日に野宿の女性(64)が殺害されたバス停のベンチ。

広報部撮影

排除の連鎖

新宿駅から追い出された人たちは都庁裏の公園にたどり着いたが、そこからまた排除され、支援者による炊き出しも火を使うから危険という理由で禁止された。

やっこのことで実現した、「大人の食事会」と名付けた都庁前での食べ物配布も、東京都は野宿者が並べないようカラーコーンを立てた。自助、共助、公助と言いつながら助けることすら許さない行政の対応は今も続く。寒い夜を22センチ幅のベンチで過ごし、通じない携帯を持ち親族の連絡先を身につけていたその女性は、誰からも助けられないことなく、目障りだとして殺された。

普通の人々が、普通に、路上生活にまでつながる時代が今なのだろう。

新宿で開催されている野宿者のための「大人のご飯会」にコロナ前は百五十名前後だったが、**コロナで女性が増え、次に背広を着た男性が、しばらくくると、家族連れが配食の列に並び始めた。**今では、一回のご飯会に約八百名が並び、急激な増加は、社会の底が抜けたことを意味した。民間による支援は、追いついていない。

見渡せば、金銭的に詰んでしまった若者は数えきれない。

先だつての闇バイトの裁判で、(十月二三日公判)、主犯格の男性(二十三歳、犯行当時二十一歳)は「極刑(死刑)を希望します」と涙ながらに陳述した。土木作業員だったが借金を作り、闇バイトに応募した。そして人を殺した。判決は終身刑だった。

今回、防犯対策を告知するのは、

一、自治会のみなさんが**被害にあわない**ということ。

二、もし、犯罪に巻き込まれたら、自分だけではなく**大切な人の心にも深い傷を負わせてしま**うから、その回避のために。

三、最後に、防犯対策をきちんとすることで、**犯罪を防げれば、加害者の人生をも救う**、ことになるからです。

どうか、できることから対応してみてください。

(広報部)

編集後記

はじめてのお使いじやないが、はじめての会報作り二回目です。今回は防犯対策です。酷い犯罪が多くなってきたことから、自主的に自治会内をパトロールする案が役員会で話し合われています。安全部会は、本当に真剣です。

で、先だつて、ハーモニーホールの前の車道を深夜から歩いていたら、カタギの防災部長と遭遇。防災部長は、歩道のしかも左側を、マスクをしてちゃんと歩いていました。まるで、不良学生が学級委員長とでくわしたドramaのようなシーン。すぐに、「道路の真ん中を歩かないなあ、と思つてみていたら白鳥さんでした」と、速攻でいじりメールをもらいました。素早い指摘。危険回避のための教育的指導ばっちりです。

これで自治会アプリがあつたら、「危険行為防止」のケースとして啓発と周知が可能に。試験導入をしている自治会アプリは、まさに、防犯にも防災にも役立つ、地域と命を守る必需品になること間違いない……だな。

「担当の座頭の市ちゃん」は、役員延長(二年も、連続)神だろう。そりゃあ。(として、この仕組みを導入しようとして、いる「革命家」なんだと再認識愛があるなあ、うちの自治会。(反省している白鳥)